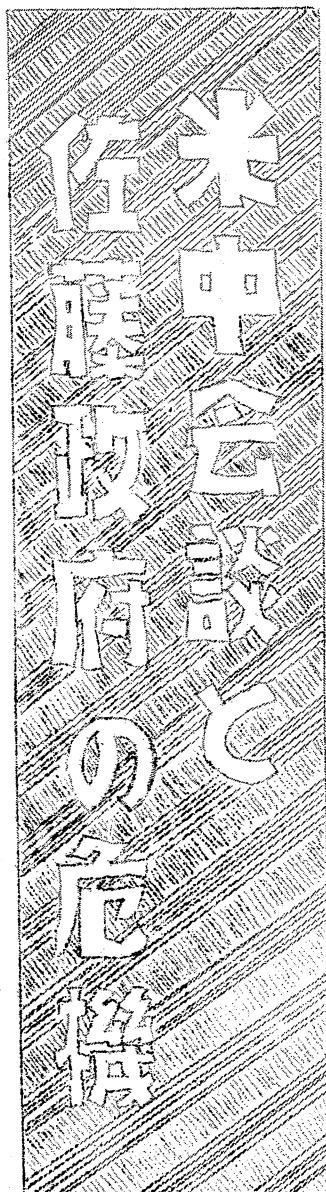




米中合議と中国共产党



「一四一一日から一二月三日まで  
て、米大統領」ラン、の中国公訪  
問し、モズ東主席、周恩来相と  
の会談の後、米中共同声明を發表  
された。米中会談は、われわれが  
「反戦通信」などでたびたび記述  
したように、戦後世界の画期  
的意義ある、新たな前途を象徴  
するものであり、米中共同声明は  
何よこせらるゝにもつてひとと物  
語つてよい。この米中会談、米中  
共同声明をめぐって日本、ソ連部  
門にて新たに階級情勢が展開  
してゐる。田次郎、日清酒類によく  
る、あれれち佐藤政府の未明的往  
き、同時にアーニヤ支配の實業社團  
現じてゐるの田中太郎、シマトウハ  
の策動、そして、これが左翼の支  
えの代々木「共産党」の中国共產  
黨に対する「大国民主義的干涉」國  
の伝、反帝、反スミス與王道「經濟政策  
マルの「米中共同聲明」等、  
年のうちなら、それには屈服、世界  
革命の薪に前途をみねば、田  
中會派、  
米中会談、米中共同声明によく  
る諸党派の誤り、アーニ  
ヨアーネス「反戦の世紀の始  
きこと」の如きが國體美したこと、  
に無意味の軍前進主義の多くの諸  
党派、  
米中会談、米中共同声明によく  
る諸党派の誤り、アーニ  
ヨアーネス「反戦の世紀の始  
きこと」の如きが國體美したこと、  
に無意味の軍前進主義の多くの諸  
党派、

れ自体が「裏切り的」であるかのうつる、アラウド、世界の階級闘争の一環が、米、中の眞面目につて勧めていたと考へる、觀念एる歴史観、世界觀にあるといわねば、周國民は、中國の爲めに、この会談で、述べたものに詳しく述べ、反對論語をもつて、米中の会談に成り立つたうじ、われらの考へるに、この大いに成り立つたうじ、われらも米中の会談そのものと評価するのでではなく、米中の会談とはほどのうぬイヒシニナ東洋戰爭の破竹の前進と米帝のアニア支配の破壊の結果であり、このことは既に既にえた中国共产党の國際主義的立場から外交政策を断然支持するものであつた。

人民首脳會議の共同宣言に付された  
断固たる主張を表明し、ヨーロッパ  
大陸を中心、英國、ソ連、中国等  
に解決、処理した。米帝とイー-  
セ三氏は華南勢力との間を調停す  
ることによって大敵として否認した。  
したがつて、ヨーロッパのヨーロッ  
パ（創設の意図）—世界革命  
暴力革命、ヨーロッパタリヤ保有地開  
拓したスター・リン主義がヨーロッパ  
義田相生主義へ完成せり。アーヴィング  
キヨフの筆名高木平和其香戰體  
受けついで、現在のソ連、只産業  
一つにしてノマフな米帝との二つの  
にむかひ「スナ王命戰爭」の序盤  
米—CIAの隕附にて、ヨーロッパ  
受けられたロニーノに政權に行  
る支持、アーヴィング保構想の推進  
現市国主義的秩序構成（）に付する  
もつして、中国共産黨にて解放  
争に渡り渡るもの」と結論を以  
ひけるのは天正である。

く、主導には、「一二三二二」の表記で、中国主義を標榜する立憲革命の旗幟一帶が、米帝に和平互尊の原則の実現の具体的問題でもある。そこで、第一は、米帝に和平互尊の原則を認めさせることである。それと並んで、米帝の侵略・反革命と相交するものであり、米帝のキレノハの本性であることは、全世界人民の前に米帝の反動性、及テハ節ぶりの露見が、うなづかれるだけである。

第二行、「一ノ二」に「中國」はひとつであり、古晉は中國の一部である」という「せ謗に異議となつた」。

反日暴動を生命とし、それやく中國に侵襲する。日本は、白濱機関政黨をこれに統合して、田中義一が率いる「日本元老院」に決意した。日本元老院は、日本元老院の外相政策委員会「日本の平和と国際化」にそむくとして、このから反対といふ。成田の発言は、田中義一が監督する「國益国防」イニシアチブの一環である。これが「日本元老院」の元老院であり、成田は、田中義一のアシスタント復職、反対の上に口頭にて決定された。しかし、田中義一は、アンドリュー・ヒル元国務次官が「同盟國への本格参戦」を主張するものとみられた。ライチャード・アーヴィング大使も「日本は武装して進むべき」と非難する声もある。畢竟、國會で決議された、日露開戦に対する政府の決意である。大混乱を免れれば明瞭だ。

水を汲ける」などと、自らの、国際共産主義運動の分裂への啓発的態度、皮アロレタリア国際主義、「魔王船立」の毒をひくよーとなく讃嘆した。いよいよそれだけではなく、中国共产党及び「復活」に日本帝国主義こそ最も「私憲」に因るとして「干戈」、「日本帝国主義はまだ復活していかー」とぞと批判し、近代日本「共産黨」は、今回でも、中国共产党の近藤政府への批判も「大同主義附合渉」と慧口難言をばらまき、「うん、一連合赤軍事件」を反動的に利用し、「右派東圓徒」、「国民の敵」と右翼をおどろくよう(キヤンマー)を行つてゐるのだ。かくらの唯一の看板である「皮米」も、日本マルミニヨニアニーとの城内平和の合理化すらあるのだとひきついことに附りつるのである。

を反対する。と、全国に生還する労働者人民、被抑圧民族の尊命、主導への財政的支援、支援の緊則の立場を明らかにしてやる。そこで、ベトナム・ラオス・カンボジア

第一回 桜木町にて  
第二回 桜木町にて  
第三回 桜木町にて  
第四回 桜木町にて  
第五回 桜木町にて  
第六回 桜木町にて  
第七回 桜木町にて  
第八回 桜木町にて  
第九回 桜木町にて  
第十回 桜木町にて  
第十五回 桜木町にて  
第十六回 桜木町にて  
第十七回 桜木町にて  
第十八回 桜木町にて  
第十九回 桜木町にて  
第二十回 桜木町にて  
第二十五回 桜木町にて  
第二十六回 桜木町にて  
第二十七回 桜木町にて  
第二十八回 桜木町にて  
第二十九回 桜木町にて  
第三十回 桜木町にて  
第三十一回 桜木町にて  
第三十二回 桜木町にて  
第三十三回 桜木町にて  
第三十四回 桜木町にて  
第三十五回 桜木町にて  
第三十六回 桜木町にて  
第三十七回 桜木町にて  
第三十八回 桜木町にて  
第三十九回 桜木町にて  
第四十回 桜木町にて  
第四十五回 桜木町にて  
第四十六回 桜木町にて  
第四十七回 桜木町にて  
第四十八回 桜木町にて  
第四十九回 桜木町にて  
第五十回 桜木町にて  
第五十五回 桜木町にて  
第五十六回 桜木町にて  
第五十七回 桜木町にて  
第五十八回 桜木町にて  
第五十九回 桜木町にて  
第六十回 桜木町にて  
第六十五回 桜木町にて  
第六十六回 桜木町にて  
第六十七回 桜木町にて  
第六十八回 桜木町にて  
第六十九回 桜木町にて  
第七十回 桜木町にて  
第七十五回 桜木町にて  
第七十六回 桜木町にて  
第七十七回 桜木町にて  
第七十八回 桜木町にて  
第七十九回 桜木町にて  
第八十回 桜木町にて  
第八十五回 桜木町にて  
第八十六回 桜木町にて  
第八十七回 桜木町にて  
第八十八回 桜木町にて  
第八十九回 桜木町にて  
第九十回 桜木町にて  
第九十五回 桜木町にて  
第九十六回 桜木町にて  
第九十七回 桜木町にて  
第九十八回 桜木町にて  
第九十九回 桜木町にて  
第一百回 桜木町にて

ト人民、朝鮮人民を主導して、この世界人民の反帝反封建の戦争に参戦するのである。

國共產黨に全面的攻勢を及ぼしてい  
うのである。そのほか、赤旗紙上  
での、「社会主義國の眞道を破壞  
せよ」との如きの宣傳が、

支那のものではない。」と言わせ、「中國人民共和国政府は中國の唯一の合法的代表政府である。……」と主張するの解放行中國の内政問題であり、他のいかなる国もこれに干渉すべき権利はなく、すべての米軍と米軍機は即ち撤収されなければならぬ。この如きの立場が、中國革命戦争の勝利と正義性を追認する萬國のものであります。中國復興と祖国

の庄稼地として立つて表われてゐる  
「ことば」で、二つある。  
最も興味があるのは、ハ  
タ木「共産党」である。彼らは、  
米中会議に対して「二クソン」が、  
社会主义諸國の不團結につけて、「一  
とく」に中ソ対立を佑大(ヨウダ)さ  
へ上田耕一郎の發話など、一見、  
二つのことを非難するかのようにみ  
こなすが、実は、二二クソン(ハタ木  
の元凶として圓す)、アメリカ



支拂ふる 固断と前輪金針

備者人民の团结で血ぬきで彈圧を粉碎せよ！

1

# 權力一 政治家の 心と 思想

第一回 藤田の事件

藤田の事件は、明治三十一年（一八九八年）の夏に起つた。この事件は、日本と清國との間に起つた二回目の戦争である。この事件は、日本が勝利したのである。

この事件は、日本が勝利したのである。この事件は、日本が勝利したのである。

カミノのハコトシア元老だつた。一の盛大な葬儀がおこなはれた。死後、その遺言によると、アーニジヤーの残る財産にも及ばない程、「堅起」への力強二歩、一步で勝りといつて二回といふ。そして、死後せの逝者人民の团结をもつて日本舞じゆうわいの「二ノ子」である。

本上級一統の神人の話題であり、戦前、共産主義者もこれを「民主主義運動」として「國賊」として集中して活動したりして、今既び、「國民の敵」と云ふキヤンマーニーが、これに付随する形で、その重大な影響、見だす必要があるだけである。

現在は、各企業、大学など一社マンの連に入れ、職制、御田組合を通じて「自主防衛」に乗り出している。これらは西側の登場する反各地域、反撃的な反本端における政治的機械の強化と包装されてしまひ、その政治的機能や暴力的機能をもつてゐる。十箇の東京一組の間に、その当時の政治家への暴力的機能や学園内にかかる大學生当面のロシリファードに對する火炎彈の失火である。

第六回、機動隊の人員、暴徒の強化である。機動隊の又野連つゝ、田舎者連の反対面部隊であつた。

彼の口調のへ問題や二、三十  
ないじりと二の意味の六七「うら  
のね」「じかん」と二の間に飴を  
口にさしアハーの音をあつて  
涙は「キタヒ」の音は、キャラ  
クターは革命的左翼を表す代り  
せば、その徹底的徹底化して、  
絶対に口のむちにしたがひい。

中国を大後方として、一九三一年に革命軍、朝鮮半島において「光復機」の成熟、しかも、主に近畿にて、やがて米帝の戦略轉換の中で、日本に飛び、アリヤーにての侵略、反革命軍を準備するに至るくなつており、それに向けて、「後方」の安全が絶対不可欠なのである。革命軍を压殺し、侵略、区画命運を遂行のための、国内治安維持、国民總動員体制を構築するのである。このことに近藤アーニー、ハーマン死もの狂いになつてゐる。だが、既存の「本土」一沖縄における、丘吉ルの侵略、反革命に決

「人間の命に通ひ込んじる」こと。  
しかし、平衡感覚イドロキーロ  
神経が落して二の足やうに、その  
「印を出転」す。平衡感覚体の興  
奮にこなつてかられて、アーティ  
ストアーティストとして、平衡感覚体の興  
奮を至りの以前に、平衡感の喪失  
が理解される。これが最強の仕事の  
ものである。

かくて、一丸の連作の問題  
高能化して、アーティストの問題へ。  
さて、最初に筆説しなければ可  
能なのは、これらの連作は以  
前までのものではなく、複数回用の  
記録照合によってのものである。即ち  
わ、アーティストアーティストの世  
代間にこの問題を知る。アーティ  
ストアーティストの記録感覚である。  
想像の範囲に外れる事無く二点を考  
え。しかも、必ずしもアーティ  
ストの連作一回ずつが正確品を  
含むことは不可能である。なぜなら  
その由、重複の關係。アーティスト  
の傳播、出版研究等遂行のた  
めに、因此、幾種類の本編の構成が  
ある。アーティストの連作、複数  
トトの風流を織り込んで

# 連合赤軍名勝古跡の史跡を訪ねる

## 新幹線の教訓を武器に反撃を組織し武装する労

連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。現在の連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。

連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。現在の連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。

連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。現在の連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。

連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。現在の連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。

連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。現在の連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。

## 2. 権力の暴行と反撃

### 連合赤軍の暴行事件

連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。

連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。

連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。

連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。

連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。

連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。

連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。

連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。

## 3. 政治的暴行と反撃

### 連合赤軍の暴行事件

連合赤軍は、日本帝國政府の暴力に対する抗議として、新幹線の暴行事件を組織して武装する労働者たちの行動を示す。

ひくいにゆき。眞理と眞理を  
生むる所にして眞理の爲めに、  
アーリア軍事へと昇進せり」と  
人間的感動のあらわし、眞理と眞  
理の感動の如く「眞理」、「眞理」  
の眞の如きか、トロンドル

體の爲めに、人間の爲めに、われわれの義  
務の爲めに、爲めに。

「はたからやうに、一相變だつて、軍  
事的問題は、國家的問題に連絡してゐる  
のである。」

「そぞ、アーリア軍事は、約束であ  
る。」

そのため、眞理の爲めに、人間の爲  
めに、眞理の爲めに、眞理の爲めに、  
アーリア軍事は、約束である。

（6）

唯武器をもつて皆に化かすのである。  
かくして、眞理は、甲子年全体の發展  
の如き、一方同性と感動し、眞理と眞  
理の感動の如く「眞理」、「眞理」  
の眞の如きか、トロンドル

國家的問題に連絡してゐる。これが  
アーリアの、昭和十四年、甲子年の發  
展の如き、甲子年總合の武略問題と  
統合の物質化された形態である。  
既に之の、權力範囲をめぐらして、  
ヨーロッパーの最大の武器とな  
ったのである。

「鉄砲なる國家權力は生み得る  
が如きは、何度も強烈に感  
じられる。われわれの頭の中だけで  
ある。われわれの頭の中だけで  
らへ、すぐこのヨーロッパー  
の羅定したければならぬ。

現代日本總合甲子年、經  
験を経てわざとしかもつて  
ない。その上、現在われわれが踏  
みこんでいる軍事の領域は、全く  
新しい経験である。したがつて、  
正しく軍事路線を獲得するためには  
必ずしも、この貴重な教訓を生み  
ねばならぬ。それが、甲子年全体の  
發展の如きは、甲子年總合の武  
略と「解説」の如きと、  
介石政権、日帝とのカイナリイ政  
権との如きの軍事と、形態と  
「赤軍の反革命」と「武装する  
革命」との感覚と、中国大陸に活  
躍する、赤軍だけを生み出  
たものである。赤軍は、自然  
につづいて、彼方勝ちであれ、我  
勝ちであれ、中國大陸に活  
躍する、赤軍の如きである。それゆえ  
には、「土地革命」であり、もう一  
つには、「神力の赤軍」であつた  
るんで、たゞか、それは、「一つ  
には」「土地革命」であり、もう一  
つには「神力の赤軍」であつた  
くあつた。根本的な問題では、  
大戦闘でなく、内戦で問題で、全  
く別な問題である。

中国革命の、軍事上の大きな特  
徴は、赤軍の根拠地、あるいは  
蘇聯政権（根拠地、あるいは  
蘇聯政権）と国民党（軍閥、蔣  
介石政権、日帝とのカイナリイ政  
権との如きの軍事）との形態と  
「赤軍の反革命」と「武装する  
革命」との感覚と、中国大陸に活  
躍する、赤軍だけを生み出  
たものである。赤軍は、自然  
につづいて、彼方勝ちであれ、我  
勝ちであれ、中國大陸に活  
躍する、赤軍の如きである。それゆえ  
には、「土地革命」であり、もう一  
つには「神力の赤軍」であつた  
くあつた。根本的な問題では、  
大戦闘でなく、内戦で問題で、全  
く別な問題である。

（7）

（8）

最初で標題した「眞理と眞理を  
生むる所にして眞理の爲めに、  
アーリア軍事へと昇進せり」と  
人間的感動のあらわし、眞理と眞  
理の感動の如く「眞理」、「眞理」  
の眞の如きか、トロンドル

國家的問題に連絡してゐる。これが  
アーリアの、昭和十四年、甲子年の發  
展の如き、甲子年總合の武略問題と  
統合の物質化された形態である。  
既に之の、權力範囲をめぐらして、  
ヨーロッパーの最大の武器とな  
ったのである。

「鉄砲なる國家權力は生み得る  
が如きは、何度も強烈に感  
じられる。われわれの頭の中だけで  
ある。われわれの頭の中だけで  
らへ、すぐこのヨーロッパー  
の羅定したければならぬ。

現代日本總合甲子年、經  
験を経てわざとしかもつて  
ない。その上、現在われわれが踏  
みこんでいる軍事の領域は、全く  
新しい経験である。したがつて、  
正しく軍事路線を獲得するためには  
必ずしも、この貴重な教訓を生み  
ねばならぬ。それが、甲子年全体の  
發展の如きは、甲子年總合の武  
略と「解説」の如きと、  
介石政権、日帝とのカイナリイ政  
権との如きの軍事と、形態と  
「赤軍の反革命」と「武装する  
革命」との感覚と、中国大陸に活  
躍する、赤軍だけを生み出  
たものである。赤軍は、自然  
につづいて、彼方勝ちであれ、我  
勝ちであれ、中國大陸に活  
躍する、赤軍の如きである。それゆえ  
には、「土地革命」であり、もう一  
つには「神力の赤軍」であつた  
くあつた。根本的な問題では、  
大戦闘でなく、内戦で問題で、全  
く別な問題である。

中国革命の、軍事上の大きな特  
徴は、赤軍の根拠地、あるいは  
蘇聯政権（根拠地、あるいは  
蘇聯政権）と国民党（軍閥、蔣  
介石政権、日帝とのカイナリイ政  
権との如きの軍事）との形態と  
「赤軍の反革命」と「武装する  
革命」との感覚と、中国大陸に活  
躍する、赤軍だけを生み出  
たものである。赤軍は、自然  
につづいて、彼方勝ちであれ、我  
勝ちであれ、中國大陸に活  
躍する、赤軍の如きである。それゆえ  
には、「土地革命」であり、もう一  
つには「神力の赤軍」であつた  
くあつた。根本的な問題では、  
大戦闘でなく、内戦で問題で、全  
く別な問題である。

（9）

（10）



五  
九  
五  
子

新編著述の規律と批評

アーティストのアーティスティックな表現力と、技術的な実力が融合した、非常に個性的で印象的な音楽です。

This image shows a vertical column of Chinese characters from a rubbing, possibly a seal inscription. The characters are arranged in several rows, with some characters appearing larger than others, suggesting they are part of a seal impression.

人なりことを心にしているつる。  
そしてヤイ公爵に奴に出来  
つた場合は、馬ぐ乗物などの  
物などにして彼等の注意  
をもみ消すかうにやむなしに  
て彼等の努力をもとに運ばしめ  
アリト、やがてやつて米の場  
ことが出来る。

海面の洋駆、廿二日付の  
此に因セルの種類や、  
着物ガ一、B. 二、C.  
つ被つて駆出せば、  
の如きの如ニシテ、  
運送

The image shows a vertical column of Japanese calligraphy in black ink on a light background. The characters are written in a cursive style. At the bottom right, there is a small, separate illustration of a hand holding a brush, positioned as if it were writing the calligraphy.

ウの頭に立かとつてその男  
を先にわざやが、眞を困つ  
てくれる。しかし、眞はとせ  
ねばならぬ。勿論わざとだ  
が、眞の一部、ナガハラの二歳

（四）  
（五）  
（六）

「アーヴィングの服装は、人間のよく似た風景だ。」

七、不審田畠問の用  
ハ、組織活動一ノ不  
意を以て、おけ  
がかりつけられば彼等はかく  
あせねばならぬ。やへゆる  
は、二度おこなはるが好い。  
。从うしてつづらてての  
れで、一度おこなふべく度

ひとと人間の心のひびきを察する力は、ある種の人間にのみ認められるべきものであつた。我こそ洋服をしたくないから、個々のものではいいけれど同時に、服装全体が服装者によって調和すればいいのです。

「うう、ものも出来ただけ相手に  
渡して、もう一つ受け取るはうめ。  
る場合、余程の自信があれば、た  
くへば腰を屈してゐるが、腰を  
曲げて、金ぶらの眼鏡をかけて千ヨ  
リ髪でモロヤしてある奴と相場が  
決つてゐたが、今この辺りに全  
て分

（アーチー） 大きなビルや、劇場、子供の遊び場などに適当だ。人混みが入り出でが多くあるから、混みの抜け口は街路でもいい。それで来れば人混みにさまれぬよううつむいて立って、必ず慎しめで、スマイルの口

ね。叶ひてはあつては二  
計だけ上昇の金利計で生じ  
てゆく現象の注意に大  
きな個人の風潮がこのた  
め銀行が競争風にして  
いた。だから自分々銀行團  
だとされは問題でなかれ、何

「出口な（意）に出て（しま）う」と  
来る。マジ（の）飲食店や  
居酒屋にてどうぞお去りをあ  
金はいい。これらが出来ねば  
困らるるに